
WE ARE THE WORLD

AKIRA

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

WE ARE THE WORLD

【ノード】

N48281

【作者名】

AKIRA

【あらすじ】

ある男性は起きると墓地にいた……。

「…」

墓地に一人の男性が立っていた。いつの間にかこんな所にいて、目の前には自分の名前の彫られた墓標。

「僕は死んだのか?」

疑問の言葉。誰に向けた言葉でもない、自分への…。と、そこへ、

「よう、新入り」

男性に話しかけてきたのは、サングラスをした黒いスーツを着た黒人の老人。

こちらを見て二コリと笑う顔は屈託がなく、無邪気な子供のよう

でいて、すべてを包み込むような優しさに満ちていた。

「何だ。キングオブポップなんて言われてた奴が。しけた雰囲気出してんじゃねえ」

と、老人は言いながら背中をポンとたたく。だが男性は落ち込んでいた。

「そんなに死んじまつた事が悔しいか? まあ好き好んで死ぬ奴なんていだらうが」

「… そうじやないんだ。そうじや……」

やつと返事をした男性に、老人は「コツとして男性に耳を傾ける。

「僕はずっと音楽が好きだつた。子供の頃から。家族みんなで歌つて、そしてみんなを楽しませる事が本当に楽しかつた。でも…」

「でも?」

「いつからか、楽しませる事が出来ていいのか分からなくなつた。最初僕は自分が黒人だから悪いんだと思つた。だから僕は肌を白くして、そうすれば一緒になれるんだと思つた。でもそんな僕をみんなは奇異の目で見てきた。家族からも馬鹿にされた」

そこまで言つて男性は俯いた。老人はただ黙つて聞いていた。

「じゃあもつとフレンドリーに接しければみんなが認めてくると思つた。だから僕は孤児やいろんな人に優しく接した。元からそういう事は好きなほうだったから。… でもそこでも僕は誤解され認められなかつた」

老人はそこまで聞くと笑い出し、男性はそんな老人に腹が立つた。

「何がおかしい! あんたも僕を馬鹿にするのか!」

「ああ。お前さんは馬鹿だな」

「何?!」

ますます男性は腹が立つた。それでも老人は続けていった。

「肌の色？ フレンンドリーに？ そんなモン誰も言つてない。お前さんは勘違いしてただけさ。誰もお前を馬鹿にもしてないし、認めてなくなんかなかつた。それを一部の奴らにちょこつと言わされてその気になつて、それに気付けなかつたお前さんは大馬鹿だ」

そこまで言われて男性は泣きたくなつた。なんでそんな事に気付けなかつたんだろうと。

それを察して老人は言つ。

「でもよかつたじゃねえか。最後にはみんなにお前の歌が、ダンスが、優しさが伝わつていたのが、みんながお前を認めていたことがわかつて。じゃなけりやお前のために歌を贈るもんか」

「え…」

言われてふと聞こえてくる歌。昔僕も歌つた『WE ARE THE WORLD』が、世界中から溢れるように聞こえてきた。その歌を聞いて、膝をつき声を出して男性は泣いた。そばにいる老人は男性の肩をたたく。

「今度はお前の番だな？ みんなにお前の歌を届けようじゃないか。仲間のエルビスやジョン達も呼ばう。伴奏は俺に任せり」

「…ああ」

男性は涙を拭つて立ち上がる。

「じゃあ月にでも行つてみるか。あそこからならこの世界みんなに歌を届けられる」

「いいね。僕も行ってみたかったんだ」

「それに…」

男性に顔を向け、老人はニヤッと笑う。

「『月でムーンウォーク』なんて洒落てるじゃねえか」

その言葉に男性は笑顔になった。

そして月からの聞こえる事のない歌は、世界中に降り注いだ。

(後書き)

一応男性がマイケルで、老人がレイ・チャールズです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4828i/>

WE ARE THE WORLD

2010年10月11日12時51分発行